

プロフィール

新城幸也（あらしろ ゆきや） 1984 年生まれ 沖縄県石垣市出身
プロ自転車ロードレース選手

大学受験に失敗し、休暇のつもりで訪れたフランスで本場の自転車競技を目の当たりにし、プロになる夢を抱き 18 歳で渡仏。21 歳でフランスの伝統あるレース、ツール・ド・リムザンで総合 3 位に入り、ヨーロッパで一躍注目選手となる。

2009 年、フランス老舗の名門チームからスカウトを受け、トップカテゴリーチームと契約。同年、ツール・ド・フランスに出場し、日本選手として 13 年ぶりのツール・ド・フランス出場を果たして以来、2017 年までに 7 度出場、すべて完走を果たし、2012 年、2016 年は敢闘賞を受賞。日本人選手として初めてツール・ド・フランスの表彰台に上がった。

これまで、ジロ・デ・イタリア、ツール・ド・フランス、ヴェルタ・エスパーニャの 3 大ツールに合わせて 11 回出場、すべて完走という記録を作り続けている。

昨年 2 月、レースの転倒で大腿骨を骨折という大怪我を負ったが、驚異的な回復をみせ、5 月には復帰レースとなった「ツアー・オブ・ジャパン」第 7 伊豆ステージで優勝を果たし多くの人に感動を与えた。2012 年のロンドン、2016 年のリオと 2 度のオリンピックも完走、東京オリンピックでのメダル獲得を目指す。

砂田弓弦（すなだ ゆづる） 1961 年生まれ 富山県富山市出身
世界で活躍するプロカメラマン

大学卒業後にイタリアに渡り、1989 年から自転車競技の取材撮影に携わっている。

現在ミラノにオフィスを構え、世界のメジャーレースでオートバイに乗っての撮影を許されている数少ないフォトグラファー。アメリカ、オーストラリア、イギリス、イタリア、フランス、ベルギー、ドイツ、日本などのメディアに写真が掲載されているが、なかでもヨーロッパの代表的なスポーツ紙であるフランスのレキップやイタリアのラ・ガゼッタ・デッロ・スポルトにも写真が掲載されている。ツール・ド・フランスの取材は 29 回になる。

著書にイタリアの自転車工房物語(2006 年)、7 月の輪舞(2009 年)、薔薇色の輪舞(2010 年)、壁のないコロシウム(2011 年)、続・7 月の輪舞(2016 年、いずれも八重洲出版)等、多数あり。

栗村修（くりむら おさむ） 1971 年生まれ 神奈川県横浜市出身
ツアー・オブ・ジャパン大会ディレクター

元プロ自転車ロードレース選手。有限会社マビスポーツ代表。J SPORTS の自転車ロードレース解説者。アマ時代の 1991 年～1995 年は全日本実業団選手権を中心に日本国内トップクラスの成績を収める。1996 年～1997 年はシマノレーシング、1998 年ムロス（ポーランドのプロチーム）、1999 年エザック、2000 年～2001 年ミヤタ・スバルレーシングチームのプロチームに所属、この年に 29 歳で現役引退。その後監督を 2002 年～2007 年ミヤタ・スバルレーシングチーム、2010～2013 年宇都宮ブリッツェンで務めた。2014 年からツアー・オブ・ジャパンの大会副ディレクターとなり、現在はツアー・オブ・ジャパンの大会ディレクターとして活躍中。